

【様式①】令和6年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 長森北小学校

校長名 浅野 竜也

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	ワクワクする行事や自己肯定感を高める機会を位置付け、魅力ある学校づくりに努める。 ゆるやかな学年担任制から、一人の子を全職員で育てる意識と、SOSの出しやすい学校づくりを目指す。教育DXの推進によりリテラシー向上と授業での活用法を検討する。	A	サイエンスフェスタIN長森北や劇団風の子を新たに誘致開催し、ワクワクする行事を例年の倍以上増やした。 ゆるやかな学年担任制として、朝の会の交換や学年朝会を平均月10回ほど実施した。このことで昨年より、事案が発生した時、担任がいなくとも素早く生徒指導対応ができた。DXリテラシーの向上に向け、専門家の講演を依頼した。	多くの行事を開催している知らせを受けた。新聞報道でもよく目にしたことから、地域としても学校が頑張っていることがよく分かる。学校評価に保護者からの学校自慢の記載が多数あったことで、学校の良さが共有された。	現在2つの全校的な行事の申し込みをしている。今後も職員と意志共有して機会を見つけ、いろいろな体験的な活動を増やしていく。 ゆるやかな学年担任制を拡充継続する。「先生と話す日」を位置付け、教育相談体制の充実を図る。 DXリテラシーを高め危険性も知りながら有効に使えるよう、研修する機会を継続する。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	地域講師や北っ子広場の中学生ボランティアなど、地域や保護者、中学校との関係強化を図る。学校運営協議会を核に、地域の「もの・ひと・こと」を活かす。「ぎふMirai's」を活用した取組や探究活動の充実を目指す。	A	中学校と連携し、警報時などの対応を保護者が困らないよう配慮した。また、北っ子広場の中学生ボランティアを10名以上依頼できた。学校運営協議会の方から運動会の進め方について助言いただいたり、避難所運営に関わる校内配置図を作成したりできた。 ぎふMirai'sを内容によらず広く学年に視聴させ、仕事や岐阜について知ることができた。	公民館主催の行事や青少年育成会議主催の行事に本当に多くの小学生が学校の声掛けから参加をしている。地域としてもありがたく思っている。自治会による防災訓練が、選挙の投票と重なりできなかった。避難場運営についての検討を今後進めていくので同一歩調で協議して欲しい。	今後も中学校との連携を充実させ、地域の行事への参加も含め、関りを多くしていく。学校運営協議会の方や見守り隊の方、PTA役員の方に多く来校していただけるように儀式的な行事だけでなく、学年行事についても案内をしていく。 ぎふMirai'sを用いた総合的な学習のカリキュラムを見直し、改善を図る。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	面談や校長だより等を活用して、職員間の温かい関係づくりと、教師力の向上を目指す。教科担任制や学年交流の機会を増やすことで業務の精選を図り、時間外労働の減少を目指す。	A	2月現在職員向け校長だよりは34号に達し、研修やその仕組みを作ったことで、学校評価で学びやすい環境にあると職員100%が答えた。 コロナ禍明けの学年行事再開について検討し、確立できた。 教科担任制は、教科時数の関係から全クラス2教科程度の実施ができた。	保護者アンケートの結果から、子どもが夢をもてる、誰かの役に立ちたいと考えている割合が高いことが分かった。学校や先生方が努力してみえる。また、感謝の声も多かったことから、先生方の頑張りが認め、丁寧に学校経営していることが分かった。	校長だよりの継続と、研修主任主催の校内研修を拡充していく。 職員の教材研究の負担感軽減につながるよう教科担任制を学校として進める。また、SSSや市費常勤講師の支援も得ながら職員の負担を平均化していく。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	登下校時の命の守り方も含めた防災意識の向上と自分の命は自分で守れるような判断力を養う。安全確認を徹底した引き渡しの仕組みをつくり、保護者にも理解協力を依頼する。いじめ防止の取組をさらに進め、児童理解とあたたかな関係づくりに努める学校を目指す。	A	登下校の最中の発災についての危機管理マニュアルを作成し、職員に配付、周知した。グランドからの引き渡し訓練や起震車での体験の伝達を通して、引き渡し開始まで30分程度かかることなどの情報を保護者と共有することができた。 生徒指導事案の即時対応を目指し、関係する職員間では毎週の交流の場で情報共有し児童への声掛けに生かした。	見守り隊が減少している。交通安全や災害時などの対応に不安がある。学校からも見守り隊参加を呼び掛けて欲しい。刃物事件で車による引き渡しを初めて行ったが、特に混乱もなく進められた。忙しい中の駐車場の確保はありがたかった。	起震車やアルミシートによる保温などの体験を職員や保護者にもしていただくことで防災の意識を高めていく。 いじめ防止週間の取り組みを参観日にあて、学校の取組を理解していただく。道徳教育の充実を図り、ブロック内での発表につなげる。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	安全点検の徹底によりけがの未然防止に努め、修繕や改修について関係機関と調整を図る。PTA会費も含め、複数の人間でのチェック体制を作り、適正な会計管理を行う。	B	危険箇所の点検や修繕に力を入れ、環境要因による救急車の要請はなかった。保護者負担となる支出を押さえる為、校内協議や入札を行った。 PTA会費の使い方など会長と共に協議を進め、来年度の会計の仕組みを整えることができた。	長年の懸案であった落下しそうな桜の枝を除去していただいたことはありがたかった。 物価高の世の中ではあるが、子どもの教育環境は何とか現状を保ちたい。いろいろ相談していきたい。	交通安全に関わり、通学路の安全点検を児童にもさせ、市への提言につなげる。口座引き落としの手数料の対応を中学校校区でも行い、年度会計の速やかな執行に務める。今後、PTA会費の減額や会員への周知方法までの検討を深めていく。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/nagamori-n-e/>